モロッコへの道（1942）

ROAD TO MOROCCO

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 83分
初公開日 1947/12/30
公開情報 セントラル

【解説】

本邦初紹介の珍道中シリーズ３作目。従って題の方も原題直訳で喜劇味がないが、この連作の雰囲気を端的に示す、お気軽な好篇だ。のっけから大洋上の客船が爆発、その放送をする各国アナウンサーが大写しされ（中国人はそれと示すバッチを付け、ソ連人のロシア語は明らかに出鱈目）、次には筏で漂流するビングとボブの御両人、飢えて互いを食べる話なんぞして笑わせる。辿り着いた砂漠地帯をひたすら歩きドライヴ・インの蜃気楼を見たりしながら、ラクダに遭遇し、それに乗ってモロッコへ。デュエットの主題歌は『どこへ行こうと８時間労働でラムーア嬢には逢うんだよ』、とフザけたもの。市場で白痴が厚遇されるのを見た二人。ボブが馬鹿のフリをして食糧を恵んで貰わんとし、失敗。が、いつの間にか大金を手にしているビング。ボブを売り飛ばしたのだ。その非道をボブの死んだ叔母ルーシーの幽霊に咎められ、ビングは町を唄って流し、彼を探す。と、拾ったロケットに巻かれた手紙には、“探してくれるな。ここは地獄”とある。しかし、迷い込んだハーレムで姫様のラムーアに歓待されているのはボブその人。羨むビング。けれど、ボブは一カ月の代理婚約者。占いでは死ぬ運命にあり、姫は悪代官のカシムに嫁ぐはずだった……。いい加減なとこが美点の、ぬるま湯コメディであります。

【クレジット】

監督	デヴィッド・バトラー	David Butler
脚本	フランク・バトラー	Frank Butler
	ドン・ハートマン	Don Hartman
撮影	ウィリアム・Ｃ・メラー	William C. Mellor
音楽	ジェームズ・ヴァン・ヒューゼン	James Van Heusen
	ヴィクター・ヤング	Victor Young
出演	ビング・クロスビー	Bing Crosby
	ボブ・ホープ	Bob Hope
	ドロシー・ラムーア	Dorothy Lamour
	ドナ・ドレイク	Dona Drake
	アンソニー・クイン	Anthony Quinn
	ウラジミール・ソコロフ	Vladimir Sokoloff
	モンテ・ブルー	Monte Blue
	イヴォンヌ・デ・カーロ	Yvonne de Carlo
	ミハイル・ラサムニー	Mikhail Rasumny

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.